

鈴木詠子議員

### ハード(設備)とハート(心)のバリアフリー化を!



答弁 「合理的配慮」(\*10)を提供します

問 「障害を理由とする差別の解消を推進する法律」が今年4月から施行され、「不当な差別的取り扱い」と「合理的配慮の不提供」が禁止となり、各自治体の実情に応じた具体的な取り組みが求められますが、当町の取り組みは。

答 法施行に向け、昨年11月に埼玉県・熊谷市・深谷市及び寄居町の共催で3市町の民間事業者向け説明会を実施しました。

問 庁舎内及び公共施設の環境整備(筆談読み上げサービス、コミュニケーション支援ボード、プライバシー保護のための窓口衝立やエレベータ内椅子の設置)について伺います。

答 筆談読み上げ、支援ボードは「合理的配慮」として今後検討し、衝立設置はせずに必要に応じて相談室を利用することで配慮していきます。エレベーター内の椅子は設置し、今後さらに利用者の声を伺いながら検証していきます。

### テレビが聞けるラジオの導入は

問 日常生活用給付項目に視覚障害者のための「テレビが聞けるラジオ」導入の考えは。

答 他市町村の状況を調査しながら検討していきます。

問 専門的な知識を身につけるための職員研修及び障害者差別解消支援地域協議会設置について伺います。

答 地方公共団体等職員対応要領は、関係機関と協議しながら策定に向け検討していきます。また、現在熊谷・深谷・寄居で障害者の自立支援のための協議会を広域設置しており、障害者差別解消支援地域協議会の設置も3市町で協議していきます。



心が通い合うコミュニケーション支援ボード

## 障害者差別解消法



安心して仕事と子育ての両立ができるように



問 町では、平成28年度の重要視点の一つに「女性の活躍推進」を掲げています。女性が活躍し続けるためには保育所(園)の役割は重要です。そこで伺います。

①子どもの全面発達を保障する保育が実施されているか ②保育士の資質の向上は ③保育士の労働条件・待遇は ④安心・安全の施設整備は ⑤地域との連携は ⑥公立・私立・保護者会連合会・ひまわり保育の会等の課題は何か。

答 ①については全入所児童の心身の健全な発達を目標に、年齢や季節に応じた保育を実践しています。

②保育士の資質向上として、県等の研修会に職員を派遣しレベルアップを図っています。

③保育士の労働条件等は、町一般事務職と同じ給料表を使い、職務に見合った給料を支給しています。臨時職員についても近隣自治体の状況等を参考に、毎年決定しています。

④施設整備については、既存施設の適正な維持管理に努めるとともに、遊具の一斉点検に基づき必要な修繕を施し、安全安心な環境整備を図っています。

⑤地域との連携では、子どもたちの成長を保護者とともに地域社会でも見守ることの重要性を認識し、老人クラブとの交流事業や地域事業への参加を通して、健やかな成長を目指しています。

⑥課題について、公立保育所では施設の老朽化、民間保育所では保育士の確保、保護者会連合会では、役員活動が就労や育児との掛け持ちとなり負担が大きいこと、ひまわり保育の会では、活動日数が少ないことが挙げられます。

### 期待される女性の活躍には



答弁 保育所の役割は重要です

ととば (\*10) 合理的配慮…障害者から何らかの助けを求める意思の表明があった場合に、社会的障壁を取り除くために必要な「負担になり過ぎない範囲の便宜」のことをいいます。

### 有害獣被害への具体策は



答弁 着手できるものから早期に進めます

問 イノシシ被害について、地域住民より抜本的対策が求められており、町もその必要性を認めています。どのような対策で、いつ具体化するのでしょうか。

答 地域の方のご協力と補助事業の活用で、荒れた里山や平地林をきれいにして、有害鳥獣(\*11)が生息しにくい環境づくりを進めます。また、先進テクノロジーを活用した捕獲システムの導入例等を研究し、より効果的な対策が実施できるよう取り組みます。事業の実施は、着手できるものから早期に進めたいと考えています。

### 協議会や検討会の設置は

問 地域の方、猟友会、行政、専門家などの英知を集めた、協議会または検討会などの設置は。

答 新たな協議会設置よりも今すぐできることとして、イノシシの住みにくい環境づくりの補助金でイノシシの生息圏と人間の生活圏に緩衝帯をつくり、出没の原因となっている山林や荒れた畑を地域の皆さんと協力して整備する事業に取り組んでいきます。

問 平成28年度予算の所信表明で「見ます 聴きます 話します 説明と納得のまちづくり」という町政推進の基本姿勢を示しています。町長または副町長に、有害獣被害に遭われている地域の方や被害場所について、現場を見て、話を聞き、肌で感じてもらえないか、町の考えを伺います。

答 町長の訪問事業を含めて、どのような形で皆さんの意見を取り上げていくかを検討し、しっかりと対応していきたいと考えています。



イノシシによる農作物被害を増やさない対策を

## 有害獣被害



ととば (\*11) 有害鳥獣…農作物などに被害を与える鳥獣のこと。クマ・シカ・イノシシ・カラスなどが市街地や農地に入り込み、何らかの被害をおよぼすことが大部分です。

悪臭やハエの大量発生に悩まされています



問 三品地区の堆肥の中間貯蔵場には、ダンブで堆肥のようなものが運ばれ、いかんともしがたい悪臭やハエの大量発生など、地域住民は大変迷惑しています。

時には野積みされているとのこと、雨の日には三品川に流れ出していると思われま。そこで、これまでの苦情の内容と対応について伺います。

答 悪臭や川の濁りについての苦情の中で、多いのは悪臭です。

すぐに現地に向向き、原因の確認と事業者への指導、状況によっては、県の北部環境管理事務所と合同で指導を行っています。

### 安全で快適な住環境を

問 5年の間、悪臭や川の濁り、ハエの大量発生と問題が絶えず、春先や初夏の時期には窓も開けられません。住民の中には人間バリエードをつくり、搬入阻止運動を行おうという人までいます。

町長は所信表明の中で「安全で快適な住環境の向上に努める」と言っております。あらゆる対策を検討し、知恵を絞って、快適な環境地域に戻してほしいと思っております。

答 環境基本条例にもありますが、地域の環境は、町・事業者・住民がそれぞれの責務を果たすことで維持できると考えています。この理念に基づき、検討を重ねていきたいと思っております。



### 堆肥中間貯蔵施設への対応は

答弁 県と合同で指導を行います

Yasuhiro Yoshizawa